



発行所  
財団法人愛媛県消防協会  
松山市築山町1番35号  
電話(921)8517番  
編集者 事務局長  
一部50円

# 第五十回(平成二十三年度) 愛媛県消防学校 初任教育卒業式

愛媛県消防学校初任教育生卒業式が平成二十三年九月三十日(金)愛媛県消防学校大教室において、愛媛県民環境部長をはじめ愛媛県消防協会会長、愛媛県消防協会会長、入校生の所属長などが出席し

て、若草もえる四月に入校し六ヶ月という長期間慣れない環境の下、厳しい教育訓練を終えた六十名の卒業式が厳粛に挙行されました。

まず、一人ひとりに卒業証書の授与が行われた後、優秀賞、努力賞等の褒章がそれぞれ授与されました。

続いて、愛媛県消防学校校長が、「皆さんは、消防職員を目指した初心を忘れることなく、本校で培った知識・技術・体力を基に、今後とも

日々自己研鑽に努め、一日も早く住民から信頼される立派な消防士になられますことを期待している」と式辞を述べられた後、来賓から祝辞を述べられました。



卒業式



訓練発表会

卒業生総代の松山市消防局、中村章宏さんが卒業生を代表して、力強く謝辞を述べ卒業式を終了した。式終了後卒業生は、六ヶ月間教えていただいた教職員また卒業生同士が挨拶をし惜しみながら学び舎を後にした。また、卒業式に

## 平成23年度全国統一防火標語 消したはず 決めつけしないで もう一度

先立ち九月十七日(土)には、雨降る中教育成果を発表する「実技訓練発表会」が行われ、所属長や家族友人など約二百五十名が見守る中、訓練を凝縮してきびきびとした真剣な動作で披露し、暖かい拍手が送られていました。

- 褒賞者
  - 優秀賞  
久万高原町消防本部  
中森 崇史
  - 特別賞  
松山市消防局  
又吉 修史
  - 愛媛県消防長会表彰  
四国中央市消防本部  
矢野 遼太郎
- 努力賞  
宇和島地区広域事務組合  
消防本部  
久保 光司  
新居浜市消防本部  
岡 康隆

## 女性消防団員 リーダー会議に参加して



松山市消防団 女性分団  
分団長 高橋 眞由美



平成二十三年七月十五日(金)日本消防会館で開催されました「第二次女性消防団員リーダー会議」に出席して参りました。北は北海道から、南は宮崎県まで、十六名の代表が会し、「女性消防団員の役割・活動の問題点、大災害への対応課題・問題点」などの議題に沿って進められる予定でありましたが、三月

十一日の東日本大震災を直接経験された福島・岩手の両県からも各一名の参加者がいられたことで、その方々からのお話に大半の時間が費やされる内容へと変更される形となったことにより、次のような大変貴重な話を聞くことができ、大災害への対応について非常に考えさせられました。

停電により連絡・指示の届かない中、ガス供給ストップ、ガソリンの備蓄も考えないといけない状況での被災者への炊き出し、乳幼児のミルク、おむつ、薬、毛布の手配、調達の奔走、高齢者等の要援護者名簿の入手が困難な状況、衣服の振り分け、被災者の心のケア、義援金が届いていないなど、非常に過酷な環境に置かれる中で活動内容に、私たちが日頃行っている机上

訓練では見えてこない「生の声」に、これからは生かさなければと必死に耳を傾けました。そして、その話の中で「女性」の消防団員としてもっと何かできることがあるはず!! と言う発想から、自宅の食材を使用しての炊き出し、また他県の方からは、一度に何百人単位での炊き出しを行う訓練をしてみたいなど、今回の震災経験を教訓に、今後の災害に備えるべく前向きな意見も数多く聞くことができました。

また、幼少期より、「自分の命は自分で守る」と言うことを伝える必要性を説く声も聞かれ、そのための防災教室を開く場を作りたいが、伝える困難さを痛感していると言うお話に、今、私たちが取り組んでいる「手話を取り入れ

### ポンプ操法最強コンビ!

トーハツ VCPROII      キンバイスーパーランナーホース

株式会社 ヤマダ 1910年創業

<b>TOHATSU</b> 小型消防ポンプVFシリーズ 電子制御 燃料噴射装置	<b>NIKKI</b> ニッキ 消防ポンプ自動車	<b>テイセン</b> テイセン救助工作車 キンバイ消防ホース	<b>YAMATO ROTEC</b> ヤマトプロテック 粉末(ABC) 消火器
--	---------------------------------	---------------------------------------	--

〒790-0062 松山市南江戸1丁目2番26号  
TEL: (089) 947-2295 | FAX: (089) 945-3976 | www.yamada-pump.co.jp



# 東予支部

## 「女性消防強化対策研修会」開催

支部長 片上 壽久

### 【研修概要】

平成二十三年九月七日(水)  
に、新居浜市において東予支

部女性消防強化対策研修会を  
開催し、今治市社会福祉協議  
会御堂様以下六名の講師を招  
いて「災害弱者の介  
護・介助・歩行支援及  
び避難支援」をテーマ  
に実施しました。

### 【研修目的・内容】

三月十一日の東日本  
大震災では、地震及び  
津波により犠牲にな  
られた方々や負傷者が  
多数発生し、現在も行  
方不明者の捜索活動が  
続けられております。

支部長 片上 壽久

大津波から逃れるた  
め、高台への歩行避難  
を余儀なくされた方が  
多く見られ、また、一  
時避難所へ歩行避難を  
された高齢者の中には  
自力歩行の困難な方々  
も数多くおられたもの  
と推測されます。そこ  
で、東予支部では有事  
の際、地域事情に詳し  
く細やかな救護活動が  
できる女性消防団員を  
対象として、自力歩行  
困難者の歩行支援と、  
要介護者への介助方法  
の習得を目的として、  
今治市社会福祉協議会  
のご協力を得て、東予  
支部管内から女性団員  
四十一名の出席者を含  
む七十四名にて終始和  
やかな雰囲気の中、当  
研修会が盛大に開催さ  
れました。

### 研修会

研修会には、愛媛県  
消防協会会長をはじめ  
、南予地区の女性消  
防団員・男性消防団  
員・消防事務担当者  
等、消防関係者の約百  
三十名が参加しまし  
た。

南予支部門田支部長  
のあいさつ、来賓の愛  
媛県消防協会山本会長  
のあいさつの後、研修  
会に移りました。



支部長 門田 完司



八幡浜市消防団 山内梨香子団員



高知大学防災すけっと隊

### 体験実習

最初に「女性消防団に入団  
して一年!」と題して、八幡  
浜市消防団山内梨香子団員の  
体験発表があり、女性の「や  
さしさ」を生かし、女性だか  
らこそできることを消防団活  
動に活かしていきたいと決意  
を述べられました。

次に「奄美大島豪雨災害に  
ついて」と題し、八幡浜地区  
施設事務組合消防本部上田忠  
消防司令にご講演いただきま  
す。

研修会には、愛媛県  
消防協会会長をはじめ  
、南予地区の女性消  
防団員・男性消防団  
員・消防事務担当者  
等、消防関係者の約百  
三十名が参加しまし  
た。

最後に「災害に備える」と  
題し、高知大学防災すけっと  
隊

「奄美大島豪雨災害に  
ついて」  
八幡浜地区施設事務組合消防本部  
消防司令 上田 忠 様

## 南予支部 「女性消防強化対策研修会」開催

愛媛県消防協会南予支部事務局

今治市社会福祉協議会様か  
らは介護用ベッド、歩行介助  
器具、車イス等多数を借用さ  
せていただき、出席者からは  
実際に介護現場で活躍されて  
いる講師の方々の丁寧な指導

や介護器具を使用しての介助  
体験ができたことは「見て知  
る」より「触って知る」こと  
で少しでも介護、介助につ  
いて自信が持てたとの感想を  
いただいております。

介護実技普及指導員の鴨川  
講師には「高齢者の歩行の特  
徴と方法」と題して高齢者の  
身体的な特徴や行動の特性  
を、生体をモデルにわかりや  
すい話し方で、丁寧に指導  
いただき、健常者から見た高  
齢者及び身体不自由者に対す

二十台の車イスを使用した段  
差障害物の介助方法の実技指  
導を手取り足取り懇切丁寧に  
終始笑顔の絶えぬ実技指導で  
ありました。

この研修会の開催にあた  
り、東予支部事務局及び開催  
地である新居浜市関係各位の  
方々の事前準備のご苦労と、  
平日にもかかわらずご臨席い  
ただいた愛媛県消防協会会長  
山本様をはじめ東予地区各消  
防団幹部の皆様のご協力に感  
謝をする次第  
であります。  
今後、更な  
る東予支部の  
発展と団結を  
祈願するこ  
ろです。

最初に「女性消防団に入団  
して一年!」と題して、八幡  
浜市消防団山内梨香子団員の  
体験発表があり、女性の「や  
さしさ」を生かし、女性だか  
らこそできることを消防団活  
動に活かしていきたいと決意  
を述べられました。

先ず「奄美大島豪雨災害に  
ついて」と題し、八幡浜地区  
施設事務組合消防本部上田忠  
消防司令にご講演いただきま  
す。

この研修会では、  
「防災・減災」の  
気持を持つことがなにより  
の備えであると再認識できま  
した。

**シバウラ**  
空冷業界唯一  
空冷式消防ポンプ

B-2級34kW  
**TF745MH**

B-3級32kW  
**TF640MH**

**水冷初**  
ラジエター搭載  
水冷Fi式消防ポンプ

操法で活躍!!

B-2級46kW  
**SF756ZXi**

B-3級43kW  
**SF656ZXi**

**SHIBAURA**

楽々操作が自慢の  
「自動吸水タイプ」にFiを装備!

B-2級46kW **SF756AZi**

B-3級43kW **SF656AZi**

B-3級34kW **SF651AZi**

シバウラ消防ポンプ愛媛県総代理店  
**(有) 愛媛芝浦ポンプ商会**  
TEL 089-933-6355 FAX 089-933-9550  
〒790-0911 松山市桑原2丁目3番19号



支部だより

砥部町消防団

団長 中越 清春



砥部町は、平成十七年一月一日に砥部町と広田村が合併し、新たに誕生しました。

砥部町は、愛媛県の中央に位置し、北部は中央を流れる砥部川沿いに開けた南北に細長い地域で、県都松山市に重信川を隔てて接しています。西部は伊予市、松前町、東部は久万高原町、南部は内子町



と接し、南部に向かうにつれ標高が高くなり、高峰に囲まれた山間地域になります。東西九キロメートル、南北二十一キロメートルの細長い地形で、面積は一〇一・五七平方キロメートルです。

東日本大震災において、地震の後、被災地では沿岸部において津波が来ることを予想して、消防団が避難誘導及び広報活動に当たっていたと聞きました。

それでも多くの犠牲者が出てしまし、砥部町には海がありませんが東日本大震災から多くのことを学び、考えさせられました。地震が起きた時に、砥部町に津波が来ないなら、何が来ると自問した時に、土砂災害、河川決壊等が考えられそれらに備える必要があると考えました。

砥部町消防団では、毎年五月に国土交通省職員及びOBの方々との基本的な結案から工法までの訓練を全団員で実施しております。

また、六月には土砂災害・全国統一訓練を町民を交えて実施しており、他には、関係各所と消防団幹部が土砂災害危険個所の見回りを行っております。先般九月二日の台風では、町内の被害は報告されていませんが、町内の河川水位の上昇と重信川の水位が氾濫注意水位を超え河川沿岸の分団に巡視・警戒を命じまし

た。砥部町消防団では、水防団を兼務しておりこれら訓練を継続的に実施する必要があります。

現在の消防団活動は、自主防災組織と消火栓の点検、女性消防団員による防火広報、ひとり暮らし高齢者宅訪問を実施しております。今回愛媛県総合防災訓練が砥部町で実施されましたが、例年町内でも総合防災訓練を実施しており、山間部が多いため中継送水、人員搬送、広報、倒壊家

屋救出、孤立地区対策訓練を重点的に実施しております。今後も東日本大震災を教訓に町内の安心・安全のために問題提起をして訓練を重ねることによって、諸問題をクリアしていきたいと思っております。

防災活動

家庭の防火



大洲市・内子町 婦人防火クラブ

会長 大本 イヨ子

大洲市・内子町婦人防火クラブ連絡協議会は、大洲市、内子町の婦人防火クラブ十クラブ、クラブ員千九百六十人で活動を行っています。

私は、地区婦人防火クラブの結成と同時にクラブ員となり、今年で二十三年目になります。私たち婦人防火クラブの目的は、まず我が家からの出火防止を図るとともに、防災意識の普及に努めることです。

東日本大震災の後、自主防災の意識は益々高まっているように思いますが、クラブ員は女性ならではの地域での繋がりがあり、細かい情報を持つておくことから、それらを生かした活動に努めています。



大洲祭りイベント会場での住警器普及活動



住警器普及活動の地元テレビ局の取材

昨年までは、住宅用火災警報器の普及啓発に重点を置いて取り組み、住宅用火災警報器の必要性の研修会、共同購入会議などを行いました。住民への普及啓発活動としては、リーフレットやポケットティッシュを作成し、火災予防運動期間中には、大洲祭りのイベント会場や愛媛たいき農協産直市場「愛たい菜」で配布を行いました。また、地元ケーブルテレビでの広報や、街頭での呼びかけによる普及も行ってきました。

私たちの活動を知ってか、婦人防火クラブの結成されていない地域においては、消防団と自主防災組織、あるいは自治会単独で共同購入に取り

組んでいたいたり、休眠状態であった婦人防火クラブが再活動を開始して共同購入に取り組みなど、クラブ活動の活性化に繋がりました。

その他、各地域では救急講習会の受講や消火訓練、愛の一声運動として、一人暮らしのお年寄り宅の防火訪問、子供たちと一緒に防火パレードや夜廻りを行っており、昨年から幼児を対象にした紙芝居による防災教育にも取り組んでいます。

～災害に強いまちづくりをお手伝いします～

家庭用からプロ使用まで 消防・防災の専門商社

ニーズを先取りする—— ジェットホース 操法大会最適ホース コンペVシリーズ

ラビット可搬消防ポンプ Fシリーズ Rabbit

Fi series

B-2級 50KW F18000

- 消防ポンプ自動車
- 小型動力ポンプ
- 消防ホース
- 消防被服
- 防災・救助機器
- 消火器・消火装置
- 避難用品
- 自主防災・企業防災用品

(株) 岩本商会

〒790-0067 松山市大手町1丁目10番地1

TEL089 (947) 2111・FAX089 (947) 2116

高松支店／宇和島営業所／姫原倉庫

http://www.iwamotosyoukai.co.jp

安心!

- 各種消防設備保守点検
- 24時間体制ビル設備監視システム
- 火災通報装置工事保守点検
- 各種消防設備設計・施工
- 各種消火器簡易消火設備販売
- その他各種防災用品非常食販売

ご相談・ご用命は…

(株) 四国消防

〒790-0952 松山市朝生田町1丁目7番21号

電話(089)934-4800

FAX(089)934-5533



# 女性消防団だより

## 地域と共に支え合う活動



西条市消防団本部女性部  
部長 宇佐美 友子

私たち団本部女性部は、9名から出発し、現在では部員数も二十一名に増え、市内全域で積極的に活動をしていきます。

入団のきっかけは、皆さん様々ですが、地域性を活かしながら消防団活動に取り組み、合併と共に活動範囲においても広がりを見せているところ。

男性団員のように、同地区での編成でなく、西条市全体の中からの集まりであるために、活動時以外ではなかなか顔を合わせることはありませんが、日々忙しい中、女性部

火災予防啓発活動である、高齢者訪問や市民救命講習会等、様々な活動の場には、地区の方々と触れ合いが数多くあり、団本部女性部の活動を知って頂けるPRの場でもあります。

災害や火事等の情報を耳にする時、女性部員さんから「〇〇地区は大丈夫?心配です。」や「地元的女性部員さん達と〇〇活動をした」と思っています。」等のメールが私に届きます。日頃から女性部員一人ひとりが積極的に災害の情報に耳を傾け、何か市民のために役に立ちたいという気持ち

が、大きくたくましいものになってきたと感じています。女性部員の皆さんは、仕事や家庭を持っており、全員が参加することがなかなか出来ない現状ですが、地域と共に、お互いが支え合う心を大切に、これからも防災・救命講習等にも積極的に参加し、活動を進めて行きたいと考えています。

「ありがとう、助かりましたよ。」女性消防団員か、今の時代はあんたらの力も大切なんよ。」と言って頂いた言葉が大変嬉しく、前向きに活動していく感謝の言葉になっ



活動時の写真

安全・安心そして支え合う地域のために、女性部員同士の絆を大切に、明日への活動に取り組みで参りたいと思います。

## 西条・新居浜地区 消防操法大会開催

平成二十三年八月二十一日

日曜日、西条市西部公園運動広場で、愛媛県消防協会山本会長を大会長として招き、第二十八回愛媛県消防操法西条・新居浜地区大会が開催されました。

この大会は、消防技術の向上と士気の高揚を図ることを目的に、新居浜・西条両市消防団合同で行われるもので、両市消防団の優秀チームから、それぞれ翌年度に行われる愛媛県消防操法大会に出場することになっています。

団本部女性部を支えて頂いている関係者の皆様に、感謝を申し上げると共にこれからもご指導をよろしくお願いいたします。

両市から選抜されました、ポンプ車の部六チームと、小型ポンプの部六チームの精鋭十二チームにより、見学者をはじめ両市応援分団の見守る中、競技が行われました。

大会当日の天候は、あいにくの雨模様となり、選手皆さんにとっては、降りしきる雨とぬかるんだグラウンドという厳しいコンディションとなりましたが、雨の滴がヘルメットから滴り落ちる姿や、足元を泥まみれにしながら懸命にホースラインを走る姿

に、見学者や応援団員の声援がますます熱く大きなものとなりました。出場選手の皆さんは、この日のために猛暑の中、仕事の合間を縫って長期間にわたる訓練を重ねてこられ、これまでに訓練してきた成果を遺憾なく発揮するとともに、迅速かつ規律のとれた消防操法を存分に披露されました。

また、両市消防団におきましては、この地区大会を通じて、更なる相互の連携と融和を深めることができ、非常に有意義な大会となりました。選手の皆さん大変ご苦労様でした。

なお、来年度に開催される愛媛県消防操法大会に出場するチームは次のとおりです。  
【ポンプ車の部】  
新居浜市消防団 中萩分団

西条市消防団 大町分団  
【小型ポンプの部】  
新居浜市消防団 金子東分団  
西条市消防団 吉井分団



## 全国の婦人消防隊員・婦人防火クラブ員等の皆様へ ご案内 婦人消防隊員等福祉共済制度

問合せ先……愛媛県消防協会

### 本制度のあらまし

婦人消防隊員、婦人防火クラブ員等は地域の自主防火組織の中核として、日頃から積極的に防災活動に参加されておりますが、これらの活動中に万一隊員等が傷害等を受けた場合の保障等が必要です。



本制度は、全国の婦人消防隊員等から保障制度の確立について、強い要望があり、平成4年4月1日に『婦人消防隊員』、『婦人防火クラブ員』等を対象とした保障制度として、発足いたしました。

防災活動中の事故により、万一傷害等を受けた場合には、高額の共済金を受けられます。

また、病気になる死亡、又は入院の場合にも共済金を受けられます。

みなさまのご加入をお待ちしております!

### 5つの特典

- 1 少ない掛金で保障範囲がワイドです。
- 2 年齢の別なく掛金は同一です。
- 3 中途加入の場合でも、保障は全て満額です。
- 4 手続きが簡単です。※市町村等の担当者が行います。
- 5 加入日に、満76歳未満で健康であれば、無審査で加入できます。

### 加入方法

#### ■加入申込

個人又は隊、若しくはクラブ等ごとに、婦人消防隊員等福祉共済制度加入申込書に加入者の氏名、生年月日等必要事項を記入し、掛金を添えて市町村等(消防本部)の担当者に加入申込書提出します。

#### ■加入手続

市町村等(消防本部)の担当者は、加入申込書を加入月の15日までに都道府県消防協会を通じて、日本消防協会に提出します。同時に掛金を同様の方法により日本消防協会に送金します。

#### ■加入資格

年齢満76歳未満の婦人消防隊員、婦人防火クラブ員等で、加入日に健康な者。

#### ■加入時期

毎年4月1日

(7月1日、10月1日及び1月1日の途中加入も可です。)

#### ■掛金額

掛金	年間800円(4月1日加入の場合)
途中加入の場合	加入期間   7月1日   10月1日   1月1日 掛金額   600円   400円   200円

#### ■保障期間

毎年4月1日から翌年3月31日まで。  
(途中加入の場合は、加入日から次の3月31日まで)

### 共済金の給付

1	弔慰金又は重度障害見舞金	
	① 災害発生時等の防災活動に従事する中、死亡又は重度障害状態となった場合	500万円
	② 防災活動(①の防災活動を除く)に従事する中、死亡又は重度障害状態となった場合	300万円
	③ 上記以外の事由で死亡又は重度障害状態となった場合	30万円
2	障害見舞金	
	事故又は疾病により障害状態となった場合	25~3万円(障害の等級により)
3	入院見舞金	
	① 防災活動に従事する中、事故又は疾病により10日以上入院した場合	1日につき600円(120日を限度)
	② 防災活動に従事しない中、事故又は疾病により20日以上入院した場合	1日につき600円(120日を限度)

### 共済金の請求方法

市町村等(消防本部)の担当者は、共済金支払請求書に必要な事項記入の上、都道府県消防協会を通じて、日本消防協会に提出します。

http://www.ogawa-pump.co.jp  
OGAWA 仕様 消防ポンプ自動車(Made In 愛媛)



豊富な収納力が1台2役分の活躍を。

多くの資器材を積み込みながらも、初期消火に力を発揮する水槽を搭載。

コンパクトにまとめあげた CD-1

小川ポンプ工業株式会社 愛媛支社

〒790-0045 松山市余戸中6丁目9番52号  
TEL:089-972-2392 FAX:089-972-2400  
E-mail: ehime@ogawa-pump.co.jp

大阪・愛媛・静岡・愛知・東京・福岡